

もっと身近に

男女共同参画

◎協働まちづくり課外国人

活躍・共生社会推進室

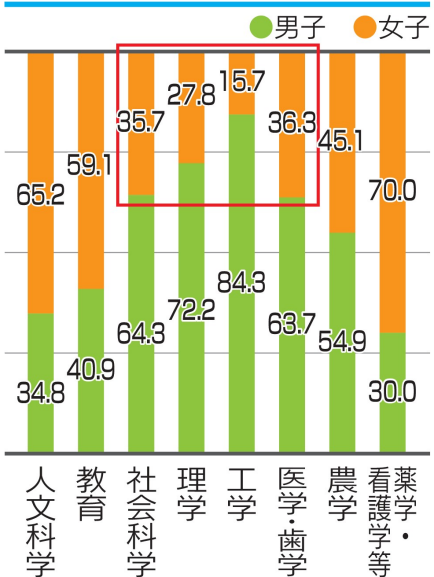
TEL44-3138

女子は理系が苦手？ ～進路の選択肢を狭めていませんか？～

あなたは文系？それとも理系？

2017年度に内閣府が行った『女子生徒等理工系進路選択支援に向けた生徒等の意識に関する調査研究』によると、「理系である」と答えたのは男子47.3%、女子27.1%と男女で差がありました。女子は理系科目が苦手なものでしょうか？

大学(学部)の学生に占める男女の割合



OECD(経済協力開発機構)が2018年、15歳の男女を対象に実施した『学習到達度調査』では、日本の成績は男女ともに科学分野と数学分野において上位で、決して「女子は理系科目が苦手」という結果ではありませんでした。
理工系専攻の女子が少ないのはなぜ？

しかし、文部科学省の『令和2年度学校基本統計』によると、大学の学部別に見た女子の割合については、「社会科学」・「理学」・「工学」・「医学・歯学」の分野が低いことがわかります。

この割合の低さは、理工系への関心や周囲の女子の進学動向、親の進学意向、将来の仕事としてのイメージを膨らませることができないような身近な手本(ロールモデル)がいらないことなどが影響していると考えられています。

このような中、市内にある静岡理工科大学では、市民に理工系を身近に感じてもらうため、公開講座や小学生を対象とした理科教室『お理工塾』を開催しています。また、国では、女子にも理工系への関心を高めてもらうこと、「理工チャレンジ(リ)チャレ」として様々な取組を行っています。

性別にとらわれない自由な進路選択を

進路選択は、将来の職業選択にも大きく関わります。テレビドラマや漫画、家族や親戚の話などから、無意識のうちにも、「消防士は男性」「保育士は女性」など職業ごとに性別のイメージがついてしまっている方もいるかもしれませんが、「女子だから・男子だから」という固定観念にとらわれず、自分が本当に興味のある進路を選択することが大切です。